

平成30年度業務実績報告における各小項目の自己評価結果一覧

【小項目評価基準】  
 評価5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。 評価2・・・年度計画を十分に実施できていない。  
 評価4・・・年度計画を上回って実施している。 評価1・・・年度計画を大幅に下回っている。  
 評価3・・・年度計画を順調に実施している。

参考資料5

大項目	小項目	ウエイト	自己評価結果		30年度業務実績における自己評価の内容（※評価3については記載省略）	
			30年度	(参考) 29年度		
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践	こども病院	2	4	4	外来単価を除くすべての指標で目標を上回っており、NICU及びGCUの病床再編の実施に伴う病床利用率の向上、HCUにおける診療体制の強化及び病床利用率の向上などを総合的に勘案し、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院	2	4	3	1日あたり外来患者数を除くすべての指標で目標を上回っており、高度専門医療の充実、タスク・シフティング推進による医師の業務負担軽減、救急専門医の増による受入体制の強化、新型インフルエンザ等への対応などを総合的に勘案し、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
	(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	2	4	4	紹介率以外のすべての指標で目標を上回っており、タブレット端末を用いた訪問看護ステーション等との連携、「福岡県小児等在宅医療推進事業」の拠点病院としての様々な取組、「小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業」への参加、「福岡県母体搬送コーディネーター事業」の中核病院としての積極的な受入などを総合的に勘案し、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院	2	4	4	全ての指標で目標を上回っており、脳卒中連携バスの使用は福岡市内の急性期病院で最多となる309件の実績となるなど、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
	(3) 災害時等の迅速かつ的確な対応	1	3	3		
2 患者サービス	(1) 患者サービスの向上	こども病院	2	4	4	HCUへ保育士1名を配置し院内療養環境の向上を図ったほか、ボランティアの受入体制の強化、ふくおかハウス増室計画への着手、外国人支援通訳サポーターの登録、1階外来フロアへの無料Wi-Fiの設置など、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
	市民病院	2	3	3		
	(2) 情報発信	1	3	4		
3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの確保と教育・研修	こども病院	2	4	4	意欲ある人材確保のため「インターンシップ・病院説明会」を11回開催するなど学生の確保に努めたほか、計画的な研修開催による看護職員の資質向上、ソーシャルネットワークサービスの活用による人材確保、職員のワーク・ライフ・バランスの推進、新たにTOEICの受験支援制度を整備するなど、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院	2	4	4	確保が非常に困難な救急専門医の増員を図るとともに、院内のワーク・ライフ・バランス推進委員会における年休取得率向上の取組み、様々な院内研修の実施・充実、認定看護師等資格取得支援制度の利用促進など、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
	(2) 信頼される医療の実践	こども病院	2	4	3	薬剤管理指導件数については、PICUへの薬剤師の配置など、よりリスクの高い分野での活動を重点化したことから目標を下回ったが、栄養食事指導・相談件数は大幅に上回り、また、感染防止対策の強化やTeam STEPPS推進の研修会の開催(計74回)、クリニカルバス使用率の向上、患児の健やかな発達をサポートする活動、手順共通化プロジェクトチームによる取組みなどを総合的に勘案し、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院	2	4	4	栄養食事指導・相談件数において目標を下回ったが、これは1件あたりの指導時間が増えたためであり、全体としては充実が図られており、また、感染症専門医を中心とした院内感染防止対策の徹底や、医師の医療安全に対する意識向上、QIプロジェクト等への参加などを総合的に勘案し、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
評価点a=ウエイト1×(評価3×2個)+ウエイト2×(評価3×1個+評価4×9個)		評価点a		84		
標準点b=ウエイト1×(評価3×2個)+ウエイト2×(評価3×10個)		標準点b	66			
(参考) 割合(%)				127%	(a/b)	
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置						
	1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	1	3	3		
	2 事務部門の機能強化	1	3	3		
	3 働きがいのある職場環境づくり	1	3	3		
	4 法令遵守と公平性・透明性の確保	1	3	3		
評価点a=ウエイト1×(評価3×4個)		評価点a		12		
標準点b=ウエイト1×(評価3×4個)		標準点b	12			
(参考) 割合(%)				100%	(a/b)	
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置						
1 経営基盤の強化	(1) 経営基盤の強化と運営費負担金の縮減	こども病院	2	4	4	積極的な増収対策や費用削減と併せ効率的な病院経営について検討を重ね、経営に関する3指標(総収支比率、経常収支比率、医療収支比率)すべてにおいて目標を上回っており、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院	2	3	4	
	(2) 投資財源の確保	1	3	3		
2 収支改善	(1) 収益確保	こども病院	2	4	4	効率的な病床管理による病床利用率の向上及び手術件数の増加により、入院収益は86億7,600万円余で、前年度より8億4,800万円余の増となるなど安定的な収益の確保が図られており、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院	2	3	3	
	(2) 費用削減	こども病院	2	3	3	
	市民病院	2	3	3		
評価点a=ウエイト1×(評価3×1個)+ウエイト2×(評価3×3個+評価4×2個)		評価点a		37		
標準点b=ウエイト1×(評価3×1個)+ウエイト2×(評価3×5個)		標準点b	33			
(参考) 割合(%)				112%	(a/b)	
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置						
1 福岡市立こども病院における医療機能の充実	こども病院	2	4	5	厚生労働省DPC公開データにおいて、川崎病センター及び先天性心疾患に係る手術症例について、成人を含む全国のDPC病院の中で症例数が3年連続で全国一位となったほか、股関節先天性疾患について全国二位、脊椎手術症例及び先天性下部尿路疾患について全国三位となっており、引き続き臨床研究の充実や、国際医療支援センターを中心とした研修活動等の強化、倫理コンサルテーションチーム発足に向けた検討など、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。	
	市民病院	2	3	4		
2 福岡市民病院における経営改善の推進		市民病院	2	3	4	
評価点a=ウエイト2×(評価3×1個+評価4×1個)		評価点a		14		
標準点b=ウエイト2×(評価3×2個)		標準点b	12			
(参考) 割合(%)				116%	(a/b)	